



# 第30回 国民文化祭・かごしま2015



平成27年10月31日(土)~11月15日(日)



10/31 土

午後5時～午後7時

会場：南薩地域地場産業振興センター3階ホール

- 講演「語りつごう！伝えよう！枕崎人の心意気」  
講師／福田忠弘氏(鹿児島県立短期大学教授)

- 和食の原点～昆布と鰹節の出汁取り実演  
講師／木浦信敏氏(「なだ万」代表取締役社長)



11/1 日

午前10時～午後5時

メイン会場：南薩地域地場産業振興センター

- 劇団「ぶえん」公演「海幸・山幸」
- 講演「晩ごはんから見る、日本の食文化と健康と」  
講師／ヨネスケ氏(落語家・タレント)
- 第5回郷土芸能大会(11団体12種目)
- 鰹節削り大会・鰹一本釣り大会
- 鰹節と昆布の出汁取り教室
- 「Show-1グランプリ地方(枕崎)大会」  
ご当地グルメ、「枕崎鰹大トロ丼」の出展(通り会連合会)など

サブ会場：薩摩酒造花渡川蒸溜所「明治蔵」

午前10時～午後7時

国民文化祭「新酒まつり」

- BSテレビ「酒場放浪記」でおなじみ  
吉田類氏(酒場詩人)
- 講演「だれやめ今昔物語」  
講師／鮫島吉廣氏(鹿児島大学客員教授)
- 新酒の振舞い



全会場  
入場無料

お問い合わせ

主 催

第30回国民文化祭枕崎市実行委員会事務局 TEL/FAX: 0993(72)9998 (枕崎市文化資料センター南溟館内)  
文化庁/鹿児島県/鹿児島県教育委員会/枕崎市/枕崎市教育委員会/第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会/第30回国民文化祭枕崎市実行委員会



## エビマヨ& ムール貝のマヨ焼き

孫たちの運動会のお弁当の中で人気のある2品です。ムール貝がなかなか入手できないのですが、両方とも簡単に作れる料理なので、ぜひ一度作ってみてください！

味園 裕子さん(栄町)

### 【エビマヨ】

#### ●材料

エビ	.....	10尾
豚バラ(しゃぶしゃぶ用)	.....	10枚
マヨネーズ	.....	大さじ3
ケチャップ	.....	大さじ3
コンデンスマilk	.....	大さじ1

レモン汁	.....	大さじ1
塩コショウ	.....	適量
溶き卵(衣用)	.....	適量
小麦粉(衣用)	.....	適量
揚げ油	.....	適量

#### ●作り方

- エビの皮をむき、豚肉を巻く。
- 塩コショウで味付けして、小麦粉をつけて、溶き卵にからめて油で揚げる。
- マヨネーズ、ケチャップ、コンデンスマilk、レモン汁でマヨソースを作り、②をからめたら出来上がり。

### 【ムール貝のマヨ焼き】

#### ●材料

ムール貝	.....	適量
塩コショウ	.....	少々
マヨネーズ	.....	適量
粉チーズ	.....	適量
パセリ	.....	適量

#### ●作り方

- ムール貝に塩コショウをして、マヨネーズで貝を包むようにぬる。
- ①の上から粉チーズをふりかけ、オーブン(もしくはオーブントースター)で15分位焼く。
- 焼きあがったら、仕上げにパセリをふりかけて出来上がり。

■ 防災・復興における男女  
共同参画

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。この震災による死者・行方不明者は、1万8千人を超える。震災から4年以上たった今まで、およそ19万人が避難生活を余儀なくされています。東日本大震災の検証過程において、避難所や仮設住宅などで男女のニーズの違いに対応できなかつたり、育児・介護に必要な物資の供給が不足するなどの課題が明らかになりました。これは「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担意識が古くからあり、これまで防災・復興のあり方について協議する場に女性が参画することが少なく、男女共同参画の視点が反映されていないことによつてさまざまな問題が明らかになつたものと考えられ

■ 地域防災計画に男女共同参画の視点を

平成23年12月及び平成24年9月の中央防災会議(内閣府)において、防災基本計画ニーズへの配慮や応急仮設住宅の運営管理、復旧・復興の場における女性の参画の推進等も新たに位置づけられました。本市においてもこれらを踏まえ、平成24年9月、市防災会議の委員に初めて女性1名を任命し、平成25年8月には「枕崎市地域防災計画」の修正を行いました。



ます。今後は、一人ひとりが災害を自分に直接関係があることとして捉え、災害時の復興の過程で、困難な状況に置かれることが多い女性や高齢者、障害のある方など多様な視点を、防災を考える場で反映させていくことが重要です。そのためには、訓練や対策など日々からの取り組みが必要になります。そのためには、訓練や対策など日々からの取り組みが必要になります。そこでは、訓練や対策など日々からの取り組みが修正されました。避難場所での女性や子育て家庭のニーズへの配慮や応急仮設住宅の運営管理、復旧・復興の場における女性の参画の推進等も新たに位置づけられました。

